



## 平成20年度以降・・・

### ▶ コンテンツ収集・登録作業の効率化

リポジトリ登録の制度化及び作業のシステム化を整備する。

→ 安定した運用管理体制を確立する

### ▶ 紀要論文及び学位論文の遡及電子化作業

過去の紀要論文及び学位論文の電子的公開を実現させるため、紙媒体の電子化及び著作権処理作業を包括的に行う。

→ 大学の情報発信力を強化する

### ▶ 教員情報DBとの連携機能構築

教員が教員情報DBに業績を登録する際、リポジトリへの登録の意思表示及びそのメタデータをリポジトリで流用することができる登録支援機能を実装する。

→ 教員のデータ入力の負担軽減・コンテンツ収集の効率化を図る

# 安定的かつ継続的なりポジトリの運用を実現する